

指定校番号	28078	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立大州中学校	校長	大下恵子	生徒指導主事	山田久司
-----	-----------	----	------	--------	------

**取組事例名 『体育祭や文化祭・生徒会活動を通じて』**

**取組のねらい『キーワード 上級生から下級生へ』**

縦割りブロックによる、上級生から下級生への指導を通じて、上級生のリーダー性や自尊感情の育成・向上を図る。

**取組の具体的内容『キーワード 生徒自身の自主性を育成』**

- 体育祭では、応援団を通じて上級生が応援を行う内容や方法を考え計画を立てた。そして、下級生への指導・アドバイスを行いまとめた。また、応援歌の歌唱指導や応援時でのかけ声指導も団長を中心に上級生全員で指導した。
- 文化祭では、縦割りのクラスが体育館に集まり、それぞれのクラスの課題曲や自由曲を相互に鑑賞し、上級生のパートリーダーを中心に下級生に指導やアドバイスを行い、縦割り賞のダイヤモンド賞を目指した。
- MSV（ボランティア活動）は、生徒会を中心に声かけを行った。

**取組の課題・創意工夫『キーワード 上級生の意識向上』**

- 体育祭の応援団では、各色別のホワイトボードを用意し、練習での出来映えや次回への意気込みを全校生徒が見える場所へ掲示することで、上級生の意識向上につながった。
- 応援団長やパートリーダーに具体的な動きの確認（日程確認や動きの内容、音楽科による専門的アドバイス等）を行うことで、生徒自ら取組内容を理解することができ、仲間とともに下級生への指導・アドバイスができるようになった。



- MSV での取組を生徒会だよりや生徒朝会、代議員会で報告・呼びかけを行った。

**取組の成果（効果）『キーワード 自己肯定感の高まり』**

- 体育祭の応援団や文化祭の合唱で、下級生への指導・アドバイスを行うことで、自分たちでできたという自信につながり、自己肯定感や自尊感情が高まっていった。（学校評価アンケート結果より自己肯定感 1年生 1回目 59%・2回目 62% 2年生 1回目 67%・2回目 72% 3年生 1回目 72%・2回目 79% 自尊感情 1年生 1回目 56%・2回目 64% 2年生 1回目 64%・2回目 69% 3年生 1回目 71%・2回目 82%）

- MSVを行うことで、学校がきれいになっていく行程を実際に見ることができる。また、ボランティア手帳にチェックを受けることで、評価してもらえている場面ができた。



### 今後の展開『キーワード いつも通り』

- 行事のみの動きではなく、常日頃からどんな場面でも上級生から下級生による指導・アドバイスができるような場面を生徒会中心に考え、設定していく。例えば、月に1度の朝会で無言移動・無言集合の評価を見える位置に掲示するとともに、アドバイスも掲示する。

### 他校へのアドバイス『キーワード 年間を通して』

- 年間の学校行事を通して、上級生から下級生による指導・アドバイスができる場面を設定することで、上級生の自己肯定感が高まり、自信につながっていくと考える。